



利尻富士町教育委員会点検・評価報告書【概要版】（令和7年度分）

施策1「学びの継続性を確保する小中一貫教育の推進」

- ・りしり富士小中一貫教育の3年目として、義務教育9年間の系統的な教育課程および指導体制の下、学力と人間力の育成を推進。
- ・鬼脇地区（施設一体型）：中学校教員による小学校への乗り入れ授業（英語、算数、音楽等）やティームティーチング（TT）の充実。
- ・駕泊地区（施設隣接型）：コアチームを中心としたカリキュラム協議を推進し、英語・算数の小中連携乗り入れ授業・TT指導や、駕泊小中合同運動会の開催を実施。

施策2「個別最適な学びのための学習基盤の整備と活用」

- ・第1次利尻富士町学校情報化推進計画（R7～R10）および国のGIGAスクール構想「セカンドステージ」に準拠。
- ・1人1台端末の適切な更新：北海道の共同調達に参画し、児童生徒用151台・教職員用70台の計221台の端末更新を完了。
- ・AI学習アプリ「キュビナ（5教科）」の活用状況の把握と推進、生成AI「Gemini」の教職員研修、英語・算数・数学を対象としたデジタル教科書実証事業を実施。

施策3「学校と地域との接続性と人づくり」

- ・キャリア教育、専門機関と連携した防災教育、部活動の地域移行、教員の働き方改革、北海道医療大学との連携等を推進。
- ・部活動地域移行：国の動向に先駆け、サッカーおよびバドミントンでの平日・休日活動を定着させ、中学生野球クラブ（ラグナルズ）を支援。
- ・専門機関と連携した「1日防災学校」：気象台、消防、国保病院の医師・看護師（医療直結の応急手当指導等）や、自衛隊（避難所設営、炊き出し、担架づくり等）と連携した実践的な訓練等を実施。
- ・北海道医療大学との包括連携協定（R7年9月30日正式締結）：心理実習生の受け入れによる初任・新任教職員対象の「メンタルヘルスCAFE」開催や、住民延べ54名が参加した「フレイル予防教室」の開催。

施策4「持続可能な社会の創り手となる社会教育の推進」

- ・安全な居場所づくりと放課後対策、学校運営協議会（CS）を活用した地域人材の授業派遣を推進。
- ・放課後子ども教室：駕泊210日、鬼脇160日開催（44名登録）。青少年健全育成町民会議と連携した「夏休みチャレンジ教室」を実施（33名参加）。
- ・文化財保護・大学連携：東京大学との「利尻神社下遺跡共同発掘調査（第4次）」を実施し、現地説明会を開催。「北海道デジタルミュージアム」への資料登録・歴史発信を継続。

利尻高校・保護者への支援

- ・新入生への端末購入費助成やふるさと教育、地域探究など活動への補助。
- ・学校給食費の無償化（小中生）。

教育委員会の活動状況

- ・会議（定例会5回、総合教育会議）にて、予算や執行方針など、計19の議案等を審議・承認。
- ・各種研修、学校訪問・行事等への参加。

